

おれんじ通信

39

知って支える認知症

若年性認知症を ご存じですか

18歳以上65歳未満の間に発症する認知症を若年性認知症といい、仕事や家事、育児、親の介護などを担っている方が多いため、高齢者の発症に比べ、生活に与える影響が大きくなります。病状も人によって異なり、その年代や個性にあった介護や社会支援が求められます。しかし、今なお必要な社会政策や社会資源は充分とはいえない状況にあります。

市では、若年性認知症の方やその家族同士が思いを共有できる場として、昨年12月に「薬cafe」を才



オープンしました。また、ここに集う認知症当事者やその家族からの声を、より良い施策やまちづくりにも生かしていきます。薬cafeへの参加申込みは、担当の地域包括支援センターにお問合せください。



おれんじ通信への意見をお寄せください。

■ 地域包括ケア推進課 06
(4309)3013、FAX06(4309)3814